

株式会社ジェイコムウエスト
第12回（2022年度）放送番組審議会 実施概要

第12回の放送番組審議会は、2022年11月14日(月)、株式会社ジェイコムウエスト本社において、7名の審議委員が出席し開催。審議会会長進行のもと、『LIVE ニュース』『ジモトに乾杯！居酒屋礼二』を視聴し、番組に関する審議を行った。

■ 審議委員（出席者）

会 長	赤崎 弘平	(大阪市立大学大学院 元教授)
副 会 長	中川 修一	(高槻まつり振興会 会長)
委 員	小山 敬子	(オフィス KEIKO 代表)
	新谷 俊廣	(宝塚商工会議所 専務理事)
	千田 忠司	(千日前道具屋筋商店街振興組合 理事長)
	高寺 壽	(株式会社エフエム泉大津 代表取締役)
	松田 須英子	(伏見大手筋商店街振興組合 理事)

■ 審議番組

『LIVE ニュース兵庫～川西市～』（2022年8月4日放送分）

『ジモトに乾杯！居酒屋礼二』（2022年9月17.24日放送分）

■ 主な発言

番組①『LIVE ニュース兵庫～川西市～』（2022年8月4日放送分）

- ・ まだまだ情報量を増やしていける番組だと思う。もっと情報をつめこんでほしい。
- ・ 情報の伝え方として言葉だけでなく、地図やテロップなどを活用・工夫し、エピソードなどきめ細やかに発信してほしい。
- ・ 出演者のマスクの扱いが気になった。着用の有無を統一すべき。特に、屋外などはガイドラインに沿っていればアナウンサーは無着用の方が自然ではないかと思った。
- ・ 取材場所などがわかるよう地図を使ったりして表現に工夫してほしい。
- ・ 放送時間がわかりにくくのもっと発信してほしい。
- ・ わくわくする番組だと思う。情報番組としては良いが一般番組として捉えるとすると、もっと工夫が必要な番組。
- ・ どれかアプリを利用して視聴している。
- ・ 生放送の放送時間が11:00から14:00になったが、なぜか？
11:00からであれば、発信された情報をもって取材先に出掛けてみようという気持ちになるが、14:00に情報をもらっても、そこから出掛けるのも時間的に無理があり、また、億劫にもなるので11:00からの方が良かったのではないか。
- ・ ローカル＝狭域と捉えるのではなく、広域への発信を意識し、戦略をたて番組制作してほしい。

Q. 番組の取材、制作をする時の仕組みは？放送時間の発信は？情報量は？

A. 視聴者の情報や意見をもとに番組を制作している。放送内容や時間については番組表、電子番組表（EPG）、ホームページ等で発信している。

情報量については改善していきたい。

「この街に行ってみたい」と思っていたらいいような番組としていきたい。

番組②「ジモトに乾杯！居酒屋礼二（神戸市中央区×大阪市生野区編）」（2022年9月17.24日放送分）

- ・ 出演をしたが、中川礼二さんが番組をうまく展開している。完成された番組だと思う。
- ・ 場所の設定が唐突と思ったが、面白い番組だった。めずらしい内容で面白い企画である。
- ・ ナレーションが充実していて良かった。中川礼二さんのお話が上手いのは当たり前であるが、相方の福本愛菜さんも大変お話が上手で、うまく番組を纏めている。とても良い番組と思った
- ・ 2つのエリアの4名がどのように展開できるか不安であったが、良い企画と思った。
- ・ 地域性が似通った同士（2組）の企画も面白いのでは。もう一歩上の番組をつくってほしい。
- ・ 地域お話を聞くことで、その街に行ってみたいと思った。出演者の意外な組み合わせが面白かった。
- ・ 場面設定（演出）が白々しい。せっかく居酒屋を舞台としているのだから、もっと居酒屋らしい演出をすべきではないか。中川礼二さんが料理を出すシーンなどもあっていいのでは。
- ・ シナリオの作り方を勉強してほしい。せっかくのエピソードなどが伝わってこない。写真とかVTRなども活用するなど、もっと手間をかけるべきである。
- ・ 番組を紙媒体（冊子）にする企画はどうか。出演者の記念にもなると思う。

その他、番組以外に関するご意見

- ・ 商店街への取材にも頻繁にきてくれて大変有難い。
- ・ 視聴者は高齢者が多いと思うので、高齢者にターゲットを当てた番組制作を心がけてほしい。
- ・ イベントの取材はもちろんだが、イベントの告知にも力を入れてほしい。

これらの発言をいただいたご意見を、現場の制作スタッフや関係者にフィードバックし、今後の制作に役立てることを事務局よりお伝えし、番組審議会を終了した。

以上